



# おひさま

山形市立第五小学校

学校だより

令和7年12月24日

校長

No. 8 太田 千春

## なりたい自分になるために

12月24日（水）、令和7年度2学期の終業式を行いました。一人一人が「なりたい自分」を思い描き、運動会やおひさまフェスタ、修学旅行などの学校行事、また、日々の学習活動などに目標をもって粘り強く取り組み、大きく成長することができた80日間でした。

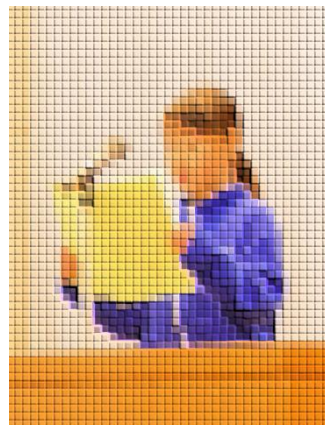
終業式では、2学期にがんばったこととして、2年 M.Sさんが自分の取り組んだ係活動を振り返って感じたことを発表してくれました。係活動というのは、学級内で無くては困る仕事を分担する当番活動とは異なり、自分たちのくらしをより豊かにするために、自分たちで主体的に立ち上げ、取り組む活動のことを言います。おひさま学年では、「おひさまリーダー」という係活動を組織しました。学習への取り組み方をよりよくしようと自分たちで目標を決め、その達成に向けてがんばって取り組んだ結果、「勉強がしやすくなった」と話してくれました。自分たちのくらしを自分たちでよりよくしていこうとする自治的な態度を少しずつ身に付けてきていることが感じられ、とても嬉しく思いました。

各教室でも2学期の振り返りを行い、一人一人が自分の成長を確かめるとともに、3学期に向けての意欲を新たにしてお終日を終わりました。できなかったことができるようになる自分の変容に、日々、出会うことができる子供の成長は、羨ましくも感じます。また、ちょっと苦手なことや不安なことにも、できるようになるまで粘り強く取り組んだ姿勢にも心から拍手を送ります。

明日から、14日間の年末年始休業に入ります。子供たちにとっても、有意義な休みになることを願っております。地域、保護者の皆様には、この2学期間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。

わたしは、2学期、「おひさまリーダー」のかかりになりました。こまっている友だちに、分かるように声をかけたり、せいいつやじゅぎょうの時に、みんなをささえることばをかけたりするかかりです。ある時、さわがしいことが気になったので、かかりの友だちとそうだんして、先生に話し合う時間をとってもらうことにしました。みんなで話し合っ、「しずかに、しゅう中して、じゅぎょうしよう」ときめました。そこで、ひとりひとりがカードにめあてを書いて、ふりかえりをしました。わたしは、「だまって聞く」というめあてを立てました。ともだちとしゃべってしまった日もありました。でも、「できた」と書ける日がつづくようになりました。しゅう中できる時間が増えたので勉強がしやすくなったなと思いました。

（中略） なかよしでげんきなおひさま学年を高められるように、自分もしゅう中して、とり組んでいきたいです。



# おひさまフェスタを開催しました！

12月10日(水)、多くのご来賓の皆様、地域・保護者の皆様にご来場いただき、令和7年度のおひさまフェスタを開催しました。今年のおひさまフェスタは、ステージ発表の第一部、各ブースに分かれての第二部と、新たな形での実施となりました。残念なことに、第6学年に感染症が流行し、発表が翌週の18日(木)に延期となりましたが、どの学年の発表も、これまでの学習の成果がよく現れた素晴らしい内容でした。

ご来場いただいた皆様からも、子供たちに温かいメッセージをたくさんお寄せいただきました。今後の更なる成長に向けて励みになったことと思います。本当にありがとうございました。

## おひさまフェスタ プログラム

開会行事

吹奏楽 プリンセスメドレー

### 【第一部】

4年生 きらめきフリースタイルパフォーマンス！

2年生 おひさま学年による おひさまフェスタのための  
スペシャルステージ

6年生 僕らはもう一人じゃない

### 【第二部】

1年生 ようこそ！あきだいすきランド！

3年生 千歳山の玉こんにゃくの味を再現したい！

5年生 楽しく仲間と支え合い 本気で挑むおひさまフェスタ！

全校合唱 お陽さまになって

閉会行事



12月22日(月)、PTA広報文化部の皆様にお越しいただき、おひさまフェスタでの子供たちの様子を写した写真を昇降口前に掲示していただきました。子供たちの生き生きとした表情がたくさん並んでいます。学校にお立ちよりの際は、是非、ご覧ください。ご協力ありがとうございました。



# 修学旅行に行っていました

11月26日(水)・27日(木)、スマイル学年が東京への修学旅行に行ってきました。両日とも、すばらしい晴天に恵まれ、国会議事堂見学や舞台鑑賞、浅草寺・仲見世散策、上野の森公園での班別研修などを通して、見聞を広めてきました。

今回の旅行にあたって、子供たちは「最初で最後の修学旅行 一人一人がスマイルになれるような思い出を作ろう」というめあてをもっていました。旅行先でお世話になった方々に対する気持ちのよい挨拶をはじめ、公共の場所での節度ある行動、相手の気持ちを思いやった言葉遣いなど、班長を中心に、自分たちでよい旅行にしようとする姿勢が随所に感じられ、6年間の大きな成長を再確認することのできた2日間でした。子供たちにとって、また一つ、小学校生活の大切な思い出ができたことと思います。



## ご協力ありがとうございました ～いじめに関するアンケート～

11月、全校児童及び保護者を対象に、今年度2回目のいじめに関するアンケート調査を行いました。このアンケートは、子供の心の声を拾い上げ、いじめ問題の未然防止・早期発見、適切な対応に生かしていくため、定期的実施しています。アンケートの結果、「冷やかしゃからかい」「悪口やいやなことを言われる」「叩かれる・蹴られる」「友達や周りの人から仲間はずれにされたり、しらんぷりをされたりする」などの「いじめ」に関する相談が延べ76件あり、訴えがあった子供から担任が丁寧に話を聞いて事実確認を行い、行為を行った子供へ指導しました。

「自由とわがままとの境は、他人の妨げをなすとなさざるとの間にあり」

これは、福沢諭吉さんが残した言葉です。自由は自分がやりたいことをする権利ですが、それが他の人に迷惑をかける場合、ただのわがままになってしまいます。この言葉は、自分の自由を大切にしながらも、他人の権利や気持ちを尊重することの重要性を教えてください。本校では、自由度の高い学習、学校でのくらしにシフトしています。私たちが社会で生活する中で、自由と責任は常にセットで考えるべきです。しかし、「自由」の意味をよく理解しないまま「わがまま」な言動に終始し、結果、学校生活における安全・安心が損なわれている場面も見受けられます。自由な行動の結果には責任が伴い、自分自身や他者への責任を考慮する必要があることを、各学年の実態に応じて指導したところです。「自由」の意味を改めて確認し、誰もが安心して学べる魅力ある学校を実現していきたいと思っています。



文部科学省 心のノート（小学校5・6年）

